

2019J2 ■順位表■ 暫定：第34節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から視て）

1	柏	69p	+30	56	26	A●	H●
2	大宮	60p	+17	47	30	A●	H△
3	横浜FC	58p	+20	54	34	A●	H△
4	山形	58p	+16	44	28	H○	
5	京都	58p	+12	48	36	H△	A●
6	水戸	57p	+16	43	27	H●	A●
7	甲府	54p	+17	50	33	A●	
8	徳島	54p	+9	47	38	A●	
9	岡山	54p	+2	42	40	H○	A●
10	金沢	50p	+10	44	34	H●	A●
11	長崎	50p	+2	47	45	H●	A○
12	新潟	46p	+9	54	45	H●	
13	東京V	45p	-4	44	48	H●	
14	山口	39p	-12	46	58	A●	
15	愛媛	38p	-7	41	48	A●	
16	琉球	37p	-18	47	65	H○	A○
17	千葉	36p	-12	39	51	A●	H△
18	福岡	35p	-15	33	48	A○	H●
19	町田	34p	-19	30	49	H●	
*20	鹿児島	30p	-24	37	61	H△	
21	栃木	28p	-20	27	47	A△	H△
*22	岐阜	25p	-29	28	57	---	---

注)*は消化試合が1足りない

次回HomeGame

第37節 vs. 愛媛FC

10/20 (日) 14:00

@岐阜メモリアルセンター

長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）

年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

投稿募集 !!

gidaidohri@gmail.com

today's guest : レノファ山口

2018 J2 16勝13分13敗 勝ち点61:8位

直近の対決と結果	ここ3試合の公式戦の結果	
2019/06/22 J2-19節@みらスタ	FC岐阜	レノファ山口
山口 4-0 岐阜	2019/09/29 J2-34節@長良川 岐阜 1-1 横浜FC	2019/09/28 J2-34節@みらスタ 山口 2-0 福岡
	2019/09/22 J2-33節@Kスタ 水戸 1-0 岐阜	2019/09/21 J2-33節@石川西部 金沢 1-0 山口
	2019/09/14 J2-32節@Cスタ 岡山 2-0 岐阜	2019/09/15 J2-32節@みらスタ 山口 2-1 愛媛

●9/29 (日) 第34節・ホーム戦に3位・横浜FCを迎えた一戦。選手を大幅に入れ替えて臨んだFC岐阜だったが、試合序盤から横浜FCに試合をボールを支配され、守備一辺倒になってしまう。そして前半10分にクリアミスのかぼれ球を決められて早々に失点。その後も、前半は完全に横浜FCペースで試合が進んだが、ハーフタイムに修正した岐阜が後半に徐々に流れを掴み始める。しかし、数少ないチャンスもゴールを奪えないまま時間が過ぎてゆき、このまま試合終了かと思われた後半45分、シンプルに縦に繋いだボールに#33 ミシャエルが1人抜けだしてDFをかわし、個人技でゴールを奪い、同点に。そして、このまま1-1で試合終了。何としても勝利が欲しい試合ではあったが、J1昇格争いをする上位チームを相手に、FC岐阜はなんとか勝ち点という結果を得ることができた。

この試合で勝ち点1を積み上げたFC岐阜だが、残念ながら順位は最下位のまま。しかし、21位・栃木（暫定）と20位・鹿児島との両チームともが敗れたため、栃木との勝ち点差は3、J2残留圏（=20位）・鹿児島との差は5に縮まった。残念ながら岐阜と栃木との得失点差は9あるため、今節で順位を入れ替えることは難しいが、今節の結果次第では、栃木とは勝ち点で並ぶ可能性が充分に出てきた。そして、そのためには、我々FC岐阜は今節、必ず勝たなければならない。

さて、ホーム2連戦目となる今節の対戦相手は、レノファ山口だ。J2で3シーズン目となった昨季は、JFAで技術委員長を務めた霜田正浩氏を監督に招聘して8位に躍進。しかし霜田監督2年目体勢の今季は、得点源だったオナイウ阿道がレンタル満了してチームを去ったほか、夏のウインドーにも主力選手が数名移籍。これらが原因となってチームの成熟度がそれほど上がらず、直近5試合の戦績は2勝3敗で、現在は14位。ただし、前節では福岡との対戦を2-0で制しており、その好調を維持して長良川に乗り込んでくるだろう。山口とのJリーグでの通算対戦成績は、岐阜が2勝2分3敗・10得点16失点と負け越している。ホーム・長良川での成績は2分1敗・5得点6失点だが、直近のアウェイ2試合では、いずれも岐阜が4失点しての敗戦。今季アウェイ戦の6/22（土）第19節は、岐阜が北野監督に交替しての初戦だったが、ほとんど何もできず4-0で惨敗。ただし、現在の岐阜も山口も、この時とは選手構成が大きく変化しているし、当時の北野監督は就任3日目の采配だった。今節は、必ずやそのリベンジを果たして勝利を掴まなければならない。その策を練る北野監督の選手起用と采配、そしてその起用に応える選手たちの活躍に注目したい。

山口で注意すべき選手には、まずは10得点でチーム得点王の#24山下敬大を挙げる。2列目でゴールを狙う彼を封じるためには、岐阜の選手たちがしっかりとボールへ寄せて、セカンドボールを確実に拾うことが重要だ。実際に前回の対戦では、ミドルシュートのかぼれ球を押し込まれて3失点目を許してしまっている。また、山口の攻撃面を牽引する#10池上丈二と#29三幸秀稔にも注意を払いたい。そして、ボランチの#16高宇洋はガンバ大阪から期限付き移籍で加入した選手で、同じくガンバから岐阜に期限付き移籍してきた#37市丸瑞希とは同年代そして同じボランチの選手だ。激しいマッチアップが予想されるが、1歳年上の#37市丸が#16高を上回って活躍する姿を期待したい。また、山口には昨季まで岐阜に在籍（16～18年）していた#7田中パウロ淳一や、中津川市出身の#33山田元気が在籍している。彼らが岐阜戦以外で活躍することは嬉しいが、今節だけは活躍させるわけにはいかない。

今シーズン、残り9試合。今節、勝利出来るか否かで、我々の今後は大きく変わるだろう。だからこそ、選手もスタッフも、そして我々サポーターも、気持ちをひとつにして、勝利を、勝ち点3を掴み取るために、この一戦を90分間最後まで戦い抜こう。そして、5か月ぶりのホーム戦勝利と『万歳四唱』で、ともに歓喜を分かち合おう。（ささたく）

【第34節】岐阜 1-1 横浜 FC

●9月最後となる試合。いつの間にか、すっかり秋も深まって…って言いたかったんですが、なんですかこの蒸し暑さ、まだ夏ですか（苦笑）。今日がナイターで、試合開始前には少し涼しくなったのが、わずかな救いだったかしら。

さて、陸上併催によるナイターだからと、普段よりも多めに刷った『岐大通』は、僕の予想を遥かに超える待機列の長さには配布が瞬殺。えーと、岐阜のお客さんにも“カズ来る来る詐欺”は飽きられてる（苦笑）だろうから、これは“俊輔来る来る”事案ですか？それにしたって、現在J2最下位のチームの日曜ナイターに今季チーム最多の11,787人ですか？（驚愕）ホント、スタッフは頑張ってると思います。あとはチームが結果を出してくれれば……。

ただし、水戸戦で負傷交替した#5川西翔太はベンチにも入っていない。#10ライザも復帰できておらず、2トップは#30中島賢星と#33ミシャエルという初めての組み合わせ。厳しいチーム事情をうかがわせる中、久しぶりの4センターバックで、まずは失点しないことを意識しているのだと思った。ところが、だ。横浜FCの攻撃陣と、ウチの守備陣の相性が、残念ながら圧倒的に悪い。選手間の連携も悪く、簡単にボールを奪われてしまう。右サイドを突破され、そのクリアが中途半端になって横浜の選手に弾かれ、こぼれたボールが#10イバに渡り、振り向きざまに撃たれたシュートで失点…（溜息）。確かに不運な面はあったし、#10イバも上手かったと思うけれど、岐阜の選手たちが、少し集中力を欠いていたことも原因になったのではないだろうか。そしてその後も、ほぼ一方的に攻められる岐阜。守備練習やってるのかと思うぐらいで、前半終了時のDAZNのスタッツでは、横浜のボール支配率が75%(!)、岐阜は枠内シュート1本しかもパス成功率は66%(!)という酷さ…もちろん現在3位の横浜FC、簡単な試合になるはずはないと分かっていたけれど、これだけ多くのお客さんが入ってるのに、こんな悲惨な内容の試合をホームで見せられてしまうのか…と、ハーフタイムに暗うつな気分になっていたことを、僕は告白します（苦笑）。

この内容で、どこまで後半に修正できるのかと不安だったけれど、4CBの配置を変更したのかな？で、横浜が優位なのは変わらないけれど、ようやく岐阜の守備が機能しはじめる。そして、#36タビナスの投入…しかもSBではなくて一列前？…えーと、左サイドに#33ミシャエルと#36タビナスを配置して、2人のスピードで何とかしちやおうって作戦ですねこれ（苦笑）。でも、僕はそれで良いと思ったし、機能した。どうも最近の岐阜は、ボールを奪った後でも素早く攻めない（あまりカウンターを仕掛けない）のが僕は気になっている。自分たちの守備陣形が崩れることを不安に思っただけの選択なのだと思うけれど、相手の守備が乱れているのは、相手の攻撃が終わった直後なわけで。ただこの日の後半はシンプルにボールを縦に出して仕掛けることで、徐々に岐阜にもチャンスが生まれてくるけれど、しかし、なかなか決められない。徐々に時間が過ぎていき、このまま終わってしまうのか…と思いかけた試合終了直前。何度目かのシンプルな縦へのボールに、#33ミシャエルが個のスピードで抜け出して、鋭く振り抜いたシュートはゴールネットに吸い込まれ…同点ゴール!! ボルテージが最高潮になるスタジアム。アディショナルタイム、最後のCK。アレが決まってくれば最高の試合結果だったけれど、アレが決まったら僕らみんな壊れてたよね（笑）。うーん悔しいなあ…って思ってたなら、横浜サポが選手にブーイングするもんだから、なんだか気持ちが落ち着いてしまったです（苦笑）。もちろん勝利が欲しかった。でも、現在の横浜FCを相手に、なんとか追いついて勝ち点1を獲得することができたという結果を、選手たちは自信に変えて欲しい。そして、この貴重な勝ち点1を本当に活かすためには、今節での勝利が必要になる。そのために、今節も全力で最後まで応援を送ります！（ささたく）

●横浜戦の前日はエコパにいた。『ちょっと遅めの夏休み』を取って、ラグビー日本代表がW杯で感動的な逆転勝利を挙げた試合を目の当たりにして、喜びと興奮に包まれていたんだけど、完全にして完璧な『最高の週末、最高の夏休み』になるか、ならないかは日曜日の長良川にかかっていた。心から爽快に、満面の笑みを浮かべて月曜を迎えることができるのか。そのためには、是が非でも勝ち点3。おまけに、追い抜かなければならない当面の敵が二つとも負けた翌日だったから。そういう意味では物足りない結果と言ってもいいのかもしれない。

とはいえ、アノ展開である。前半のうちに引導を渡されかねない、臨終間際、瀬戸際の内容だった。ウチのゴール前で横浜の人数の方が多かった場面は3回ほどあったような気がする。バーを叩いたシュートもあった。なんで0-1なのか、不思議なくらいのやられっぷり。前半は、ほぼウチの陣内でゲームをやったようなイメージだし、実際の数字は違うだろうが、95%くらいは向こうがボールを保持してたような気がする。それと、何でカイケンが真ん中でタケフミが左SBだったんだろう？その辺も微妙に影響があったのかもしれないね。

ただ、それでも失点は1。一点差で折り返せたことが後半の展開に繋がったのかな？あと、横浜にとっては前半の調子と展開が良過ぎてバテてしまったのかもしれない。主力級の年齢層も高いしね。それと、疲労があったせいか、次節の首位・柏戦に備えたのか、あの点差で10番を下げてくれたこともウチが主導権を握る要因になったように思う。

それにしても、だ。ミシャエルは良くぞ決めてくれました。J初ゴール、おめでとう！待ってたよ！！ただ、黄紙もらうほどコーフンせんでもよかろうに。気持ちはわかるけど（苦笑）。まだ、同点なんだからね。その結果がアノ終了の笛になったのかもしれない。猛省してもらいたい……、なんてことを言いながら、当のボク自身がゴールが決まった瞬間、我を忘れて周りのみんなとハイタッチ、ハグの繰り返し。とても、ミシャエルのことを言えた義理ではない状態だった。

でも、ね。思い起こせば、7/14の千葉戦以来のゴールだよ？長良川での得点は、2ヶ月半も待たされたんだから、これくらい舞い上がってもいいんじゃないかなあ（苦笑）。

夏休み最後の一日。「サイコーだった！」と言えないのかもしれないが、少なくともその一歩手前くらいには行けたような気がする。特に、後半終盤、タビナスが入ってから以降の長良川の雰囲気は、土曜日のエコパを彷彿とさせるモノがあった。しかし、それでも勝ち切れなかったということは、あと少し足りなかったのかもしれない。後半のような雰囲気をキックオフから。次節の山口戦ではやり切ろう。今度こそ、万歳四唱を！（ぐん、）

10/4 時点のJ3順位表。

1 群馬	47p +22	47	25	残り 10	★J2ライセンス
2 北九州	46p +16	36	20	残り 10	★J2ライセンス

3 藤枝	45p +10	33	23	残り 10	
4 熊本	45p +8	35	27	残り 10	★J2ライセンス
5 富山	38p +14	37	23	残り 10	★J2ライセンス
6 鳥取	35p -8	36	44	残り 10	★J2ライセンス

藤枝MYFCは来季のJ2ライセンスを取得できませんでした。従って、今季の藤枝の最終順位が2位以内の場合、J2のJ3降格枠が1になります（J2の21位は残留）。『岐大通』ではFC岐阜のJ2残留が決まるまで、J3情報を掲載していきます。（編集人：吉田铸造）